

優しい
&
易しい

「やさしい日本語」で話そう

「やさしい日本語」の例

土足厳禁

外国人にはわかりにくい
日本語も…



＜っ 靴を めいでください

「やさしい日本語」にすると
わかりやすくなります

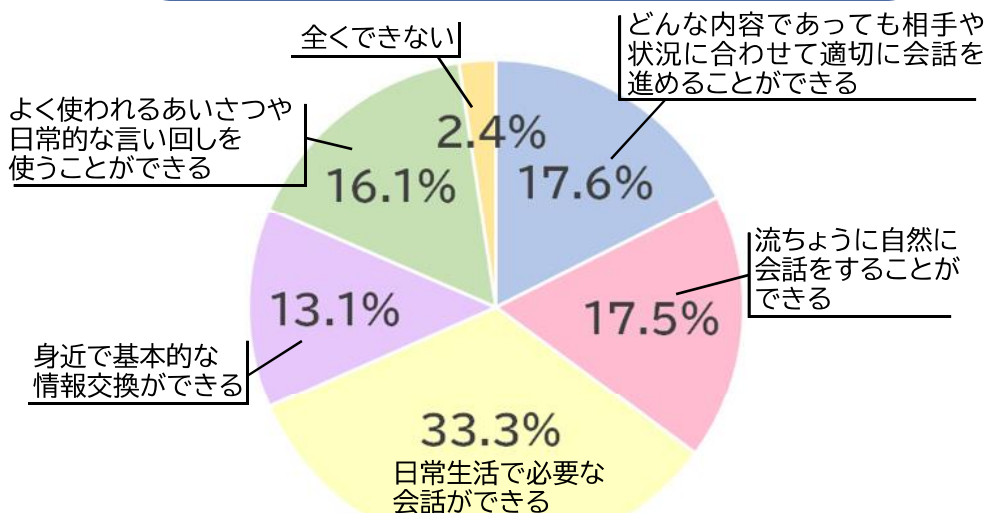


❖ 「やさしい日本語」とは？

難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のこと
ポイントを押さえれば、だれでも使うことができます。外国人にはもちろん、こども、高齢者、障がいのある方などにとってもわかりやすいコミュニケーション手段の一つです。

❖ なぜ「やさしい日本語」なの？

外国人の日本語能力（会話）



令和6年度 在留外国人に対する基礎調査（出入国在留管理庁）
（「在留資格」で「特別永住者」以外を回答した人が対象）

グラフでも分かるように、日本に住んでいる外国人のほとんどが簡単な会話であればできると答えています。
外国人との会話は「英語」と思うかもしれませんが、英語よりも日本語の方がわかる外国人はたくさんいます。

「やさしい日本語」が誕生したきっかけ

1995年1月17日に起きた阪神淡路大震災。神戸市を中心とした地域には約10万人の外国人住民が暮らしていましたが、多くの外国人は日本語による災害情報や避難情報を得ることができませんでした。その結果、地震による物理的な被害だけではなく、情報の面でも被害を受け、二重に被災してしまったのです。

このできごとをきっかけに、弘前大学社会言語学研究室が、外国人に災害情報を「迅速に」「正確に」「簡潔に」伝えるために、「減災のためのやさしい日本語」を提唱しました。これが、「やさしい日本語」の始まりです。

やさしい日本語の作り方



1 1つの文を短くする

1つの文に1つの情報になるように、分けて短くします。

【例】 明日は清掃活動があるので、午前8時に公園に集合してください。

→ 明日は掃除をします。午前8時に公園に来てください。

2 はっきり、最後まで言う

ゆっくり、はっきり発音します。

また、「できなくはないけど…(やりたくない)」「用事があるから…(行けない)」など、あいまいな表現を察するのは外国人には難しいので、最後まで言い切ります。

3 尊敬語・謙譲語は丁寧語にする

日本語を学習するとき、「です」「ます」「～してください」を最初にならうので、丁寧語を使った方が伝わりやすくなります。

【例】 お掛けください

→ 座ってください

差し上げます

→ あげます / 渡します

よろしいでしょうか？

→ いいですか？

4 難しい言葉は簡単な言葉に言い換える カタカナ語はできるだけ避ける

【例】 今朝 → 今日の朝

開始する

→ はじめます

危険 → あぶない

キャンセルする → やめます

※ただし、災害用語や日常生活でよく使う言葉など、知っておくとい言葉はそのまま使い、言葉の後に説明を加える。

【例】 余震 → 余震(よしん(あとからくる地震))

5 その他

• 擬音語・擬態語は使わない

• 二重否定は使わない

【例】 できないことはない → できる

• 書くときは、文節で区切って余白を入れて、「分かち書き」にする

• 漢字にルビ(ふりがな)をつける

【例】 明日は 掃除をします。午前8時に 公園に 来てください。



「やさしい日本語」に『正解』はありません。
伝える相手のことを考えて、その人にとって必要な
情報は何かを考えながら伝えることが大切です。

川西市 市長公室 人権推進多文化共生課
TEL 072-740-1150